

平成27年2月3日
岡山っ子育成局

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
1. 量の見込み・確保方策			
1	認可保育園を整備して欲しい。	116	これまで、教育・保育ニーズなど地域の状況を踏まえた施設の新增設を進めており、今後も引き続き、必要な地域で保育施設の整備などを進めてまいりたいと考えています。
2	30地域に1つの公立施設では、通園しにくく、入園できない子どもが増えると思われ、施設数を増やして欲しい。	21	「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」（平成24年12月）を基本に、教育・保育提供区域（30区域）と公としての役割を担う施設を定め、幼保連携型認定こども園を想定して幼保一体化を進めるとともに、施設配置の最適化や保育の希望があるのに入所できない子どもの縮減に取り組むこととしています。今後も引き続き、民間活力を活かした新たな施設の整備や公立施設の在り方の検討など、本市子ども・子育て会議などで関係者からご意見を伺いながら、進めたいと考えています。
3	市が進める幼保一体化について、制度・進捗状況・サポートなど、情報提供して欲しい。	14	公立施設の今後の在り方については、本市子ども・子育て会議での協議などを通じて、教育・保育関係者の方々からご意見を伺っており、今後、具体的な考え方がまとまり次第、保護者や地域の皆様など関係者にお知らせしてまいりたいと考えています。
4	幼稚園・保育園ともに残し、増やして欲しい。	6	子ども・子育て支援新制度では、市町村が実施主体となり、すべての子どもに良質な成育環境を保障することとされており、本市でも、現在の公立保育園・幼稚園での保育・教育をはじめ、今後は、幼保連携型認定こども園の整備、民間活力の活用、施設の再配置なども含め、事業計画に沿って、質の高い教育・保育を希望する就学前の子どもに提供していきたいと考えています。
5	岡山市の現状に見合った計画にして欲しい。	3	「量の見込み」はアンケート調査による潜在ニーズを含めた推計値であり、また、「確保方策」は現在の施設状況に今後の見込みを含んだもので、事業計画は5年間の計画期間中に、量の見込みや確保方策などに変更が生じた場合には、現状に即して見直すこととしており、中間年度の平成29年度に見直しを予定しています。
6	平成31年に2・3号の受入れが増えているのは、何故か。	1	「量の見込み」（需要量）に対する「確保方策」（供給量）を増やすには、施設の整備や事業の取組が必要ですが、施設整備には一定の期間を要することから、平成27年度からの計画期間の後半に、供給量が増えることになります。
7	計画の具体的な内容は、どうか。	19	事業計画では、量の見込み、確保の内容、実施時期について、具体的な人数や時期を示しており、「量の見込み」には潜在ニーズを含む利用希望の推計数を、また、「確保方策」には計画案の策定時点での現状を基に、各年度で見込まれる増加分を含めて計上しています。
8	現在の施策との関係など、計画内容が分からない。	14	事業計画は、平成31年度までの計画期間に、教育・保育ニーズに見合うと供給を確保する方策を示すもので、民間活力を活かした新たな施設の整備や幼保連携型認定こども園を想定した幼保一体化の推進などの現在の施策とともに、新たな取組なども含め、教育・保育の供給量の確保を図ってまいりたいと考えています。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
9	公立保育園を残して欲しい。	10	子ども・子育て支援新制度では、市町村が実施主体となり、すべての子どもに良質な成育環境を保障することとされており、本市でも、現在の公立保育園・幼稚園での保育・教育をはじめ、今後は、幼保連携型認定こども園の整備、民間活力の活用、施設の再配置なども含め、事業計画に沿って、質の高い教育・保育を希望する就学前の子どもに提供していきたいと考えています。
10	安心して子育てができる環境づくりを実現して欲しい。	8	事業計画は、平成31年度までの計画期間内に、教育・保育ニーズに対応できる供給量を確保するための方策を定めるもので、希望者が教育・保育を受けることができるよう、取り組んでまいりたいと考えています。
11	待機児童を解消して欲しい。	7	事業計画に沿った確保方策の推進を図るとともに、「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本に、民間活力を活かした新たな保育施設の整備などを通じて、保育の希望があるのに入園できていない子どもの縮減を図ることとしています。
12	計画を進めることにより、子どもが入園できない状況にならないようにして欲しい。	10	事業計画は、平成31年度までの計画期間内に、教育・保育を希望するすべての子どもの受入れを目指す計画として策定するものです。
13	公的責任で教育・保育をしてほしい。	6	「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本に、公としての役割を担う幼保一体化施設の整備や施設の再配置を進めるとともに、民間活力を活かした施設の新増設に取り組むなど、様々な手法により、就学前教育・保育の確保を図っていききたいと考えています。
14	マイナスが付いている年度の確保方策は、どうなっているのか。	1	事業計画は、計画期間内に、教育・保育の需要量(利用希望)に見合うと供給量(施設等による入園可能数)を確保する方策を示すもので、できるだけ早く、マイナス(供給不足)の解消に向けて取り組むことになります。
15	「西3」区域では、地域型保育事業(3歳未満対象)の整備が必要だ。	1	「西3」地域は、1号認定子ども(3歳以上の幼稚園利用)のニーズが多く、その受入れには幼稚園又は認定こども園などが考えられます。今後、幼保連携型認定こども園の整備を進めることにより、3歳未満を対象とする3号認定子どもの受入れも可能となると考えています。
16	「中1」区域では、平成27・31年度の1・2号の認定数が変わらないが、5年後も幼稚園・保育園が在るのか。	1	幼保連携型認定こども園としての整備を目指す施設については、保護者や地元関係者などとの協議を踏まえて整備する予定ですが、事業計画の最終年度での各施設の状況は未定であり、今後、地域事情や地域の声を伺いながら、民営化や統廃合なども含めた在り方やその時期などについて、検討することとしています。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
17	幼保一体型の園を増やしてほしい。	2	「岡山市の就学前教育・保育の在り方について」を基本に、公としての役割を担う幼保一体化施設の整備や施設の再配置を進めるとともに、民間活力を活かした施設の新增設に取り組むなど、様々な手法により、就学前教育・保育の確保を図っていきたいと考えています。
18	幼保一体化に反対である。	5	
2. 地域子育て支援事業			
(1) 地域子育て支援拠点事業			
20	量の不足、施設が足りない。 いつでも行くことのできる施設が必要。 どの地域に住んでいても支援が受けられるように、各区にあればよい。 子育て相談しやすい場、親子が触れ合う場があったらよい。	9	地域の乳幼児の子どもの育ちと家庭支援のためには、地域子育て支援拠点事業はますます重要になっていくものと捉えています。現在、地域子育て支援拠点が22か所あります。地域のニーズも把握しながら、数や配置について今後も検討していきます。
21	児童館を子育て支援拠点事業にしてほしい。	7	地域子育て支援拠点事業の実施場所につきましては、児童館だけでなく保育園等も含め、身近な施設で交流や相談ができるよう地域的なバランスも考慮して見直しを検討していきます。
22	子育て支援センターを増設	2	子育て家庭の孤立化が進行する中であって、乳幼児を育てる家庭にとって身近な拠点としての中核的な役割が求められています。そのためには、量の検討とともに、職員の質や内容の充実などが図れることが大切だと考えています。
23	事業の監督・指導	1	地域の乳幼児の子どもの育ちと家庭支援のためには、地域子育て支援拠点事業はますます重要になっていくものと捉えています。内容、質の担保については、十分機能していくように、行政が責任を持って指導監督していきます。
(2) 乳児家庭全戸訪問事業			
24	量の見込みの整合性について 全戸訪問事業の見込み数が増えている理由	1	社会保障・人口問題研究所の市町村別人口の将来推計から乳児家庭全戸訪問事業について再度計算し直し、量の見込み、確保の内容を訂正しました。また、あわせて妊婦健診事業の数値についても訂正を行いました。
(3) ファミリー・サポート・センター事業			
25	ファミリー・サポート・センター事業を利用してみたい。子育てが落ち着いたら提供会員になりたい。	1	充実した事業の展開には、提供会員の増員が重要であると考えています。会員登録等の手続きにつきましては、センターへお問い合わせください。ご協力よろしくお願い致します。
26	ファミリー・サポート・センター事業を充実したものとし、北区の遠い地域でも利用しやすくしてほしい。	1	岡山市内全域において安定した支援を提供できるよう、事業の周知を図り、提供会員の増員していきたいと考えています。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
(4) 病児・病後児保育事業			
27	病児・病後児保育事業は、預かってもらえる人数が少ない、便利な場所がない、時間が短い、など利用しづらい。 加えて、実施施設が5施設というのは少ない、増やすべき。事業計画では6施設になるとあるが、ニーズはもっと高い。学校区か福祉区の単位で1施設以上必要。 また、利用中の施設がいつまでであるか不安。6施設は今後も運営し続けられるのか。	11	現在実施施設がない東区内においても、平成24年度より事業者募集に取り組んでいますが、応募がなく開設できていない状況です。 今後も、募集要件の見直しを図りながら、引き続き事業者の募集に努めます。 また、現在の実施事業者には継続して実施していただけるよう取り組んでいきたいと考えています。
(5) 放課後児童クラブ			
28	自治体の責任で、施設・職員の確保対策を行ってほしい。	11	放課後児童健全育成事業の運営主体については、児童福祉法により、市町村並びに国、都道府県及び市町村以外の者が事業を行うこととされており、事業者は条例で定められた「岡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準」を遵守する必要があります。 本市の各地区において運営委員会で行っている児童クラブ施設につきましては、市が各クラブの状況に応じ小学校の余裕教室の活用やプレハブ施設の新設・増築等、今後計画的に施設整備を進めていきます。 また、支援員につきましては、処遇改善や事務負担の軽減を図り、支援員の確保を図るとともに、研修等の充実により資質の向上の努めていきます。
29	外部に施設を借りる場合の家賃をすべて岡山市が負担し、保護者負担の有無で差が出ることなく市内どこでも同一の保育を受けられるようにしてほしい。	1	運営委員会において民間施設を賃貸して放課後児童健全育成事業を行う場合においての賃借料の負担軽減は課題と考えており、今後検討していきます。
30	指導員の身分保障が必要。 指導員の処遇改善策を示してほしい。	4	放課後児童健全育成事業の運営主体については、児童福祉法により、市町村並びに国、都道府県及び市町村以外の者が事業を行うこととされており、事業者は条例で定められた「岡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準」を遵守する必要があります。 本市の各地区において運営委員会で行っている児童クラブ施設につきましては、市が各クラブの状況に応じ小学校の余裕教室の活用やプレハブ施設の新設・増築等、今後計画的に施設整備を進めていきます。また、支援員につきましては、処遇改善や事務負担の軽減を図り、支援員の確保を図るとともに、研修等の充実により資質の向上の努めていきます。
31	6年生までの受入れにあたって実施主体、教育、指導員の確保、予算措置等の問題点と具体策を示してほしい。	1	
32	民間の児童クラブへの支援はどうなっているのか。現状把握はできているのか。	1	
33	学童クラブを6年生まで延長してほしい。	2	

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
(6)利用者支援			
34	利用者支援事業について、設置場所や提供する情報などを示して欲しい。	3	利用者支援事業は、子育て家庭のニーズを把握し、教育・保育施設等の利用に関して、情報収集・提供、相談など、保護者など利用者への支援を行うもので、現在、認可保育所の利用申請窓口である各福祉事務所と本庁（こども園推進課）に配置しており、教育・保育施設などに関する情報を提供したり、利用手続きなどについての説明や相談に応じています。
(7)養育支援訪問事業			
35	現状だけにとらわれず虐待の未然防止や質的な面も重視して計画を立ててほしい。	1	本計画は、量の見込みと確保方策についてのものですが、実施においては、ご指摘の点を盛り込み、質的向上を目指していきます。
(8)その他			
36	トワイライトステイ事業は、何年か前に終了したのではないかな。	1	記述のある部分を削除します。
37	病児保育や放課後児童クラブは、岡山市として中長期的に考えていただけるとよい。厳しい現状はあるものの、行政だけでなく、協働という考え方で少しでも前に進め、新たな取り組みを作ってほしい。	1	今後の施策の参考にいたします。
3. 教育・保育関係			
38	公立幼稚園を今のまま残して欲しい。 公立幼稚園が行っている地域や小学校との交流はどうなるのか。	16	幼稚園・保育園は、それぞれの要領や指針に基づいた教育・保育を実施するため、公立と私立で基本的な違いはなく、いずれも地域に根差して、小学校以降の教育との連続性を大切にしたいと取り組んでいます。このことは、幼保連携型認定こども園においても変わらないと考えます。 このため、セーフティーネットや岡山型一貫教育の要などの役割を担う施設については、公立の幼保連携型認定こども園として整備するとともに、民間活力を生かした新たな施設整備など、様々な手法による幅広い子ども・子育て支援について、関係者からご意見を伺いながら検討していきたいと考えています。
39	幼保連携型認定こども園になり、早く帰る子どもと残る子どもが一緒に生活するとなると、子どもが不安になるのではないかな。	3	幼保連携型認定こども園においては、短時間保育の幼児と長時間保育の幼児が、同じ就学前の子どもとして、一体的な生活することになります。その際、一人一人の子どもの気持ちに寄り添った対応を工夫することにより、長時間保育の幼児が寂しい思いや不安をいだくことがないようにするなどの配慮をし、一緒に生活できるようにしていきます。
40	幼稚園の余裕教室を活用すべきである。 活用にあたっては、施設整備が必要ではないかな。	3	幼稚園の余裕教室の活用については、認定こども園や放課後児童クラブの活用についても、検討していきたいと考えています。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
41	地域型保育事業の安全性や保育の質に疑問がある。	38	地域型保育事業を実施するためには、一定の認可基準を満たす必要があり、本市条例により、国基準を上回る保育士の配置比率などを含め、同事業が満たすべき基準を定め、保育の質の確保に努めることとしています。
42	「質の高い幼児期の教育」とは、どういう内容なのか。	3	就学前教育・保育では、豊かな人間性を身に付け、自分を高め、共に生きることのできる「自立する子ども」を育成することを目指して取り組むことが大切であり、就学前は人間形成の基礎を培う大切な時期であることから、将来の子どもの育ちの姿を見据え、3歳以上の就学前の子どもには、就学後の教育との連続性を大切にしたいと考えています。
43	幼稚園で3歳児教育や預かり保育を実施して欲しい。延長保育の時間が長い保育園を増設してほしい。	15	幼稚園における3歳児教育、一時預かり保育や保育園の延長保育については、幼保連携型認定こども園として整備していく中で、こうしたニーズに対応していきたいと考えています。
4. その他			
44	P45の(2)「…実態が大きくかけ離れ、見直す必要がある場合…」については、具体的に表記すべき。	1	「…需要に対して不足が生じている場合やニーズが増加した場合…」に修正します。
45	(3)計画の推進…教育・保育及び地域子ども子育て支援事業における実施主体とは具体的に何が示されていないように思います。	1	「岡山市及び社会福祉法人等の事業者」とわかるように修正します。
46	P45-4…子ども・子育て支援事業計画の達成状況の点検及び評価で、情報提供とは、情報を提供される側に立って行うべき。	1	市民への情報提供については、丁寧に対応していきます。
47	(2)計画の点検・評価…「岡山市子ども・子育て会議」の今後のあり方(会議の継続等)が示されていないように思います。	1	岡山市子ども・子育て会議条例に、子ども・子育て支援事業計画を定め、又は変更しようとするとき等は会議に諮って意見を聴くなどの事項を規定しています。
48	支援を要する園児が増える中、特別支援教育のための職員研修をし、配置人数も考えてほしい。給与など待遇も考慮を。	4	今後も研修実施や配置人数などについて改善に努めていきます。
49	拠点園を継続・増設してほしい。	4	今後も、よりよい施策になるよう努めていきます。
50	「就労している母親」への支援ばかりでなく「家庭で保育している人」への支援をしてほしい。	2	より子育てしやすい環境をめざして努めていきます。
51	公立施設の数が減り学区の園に通うことができなくなると、通園距離が長くなり、困る。自家用車で通うことができるようになるのか。駐車場を整備するのか。	6	公立の幼稚園では徒歩通園を推奨していますが、今後、施設整備を進める上では、自動車での送迎や駐車場の整備等は検討が必要な課題であると考えています。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
52	幼稚園の授業料が応能負担になるのはなぜか。納得がいかない。 授業料が高くなるのは困る。	7	子ども・子育て支援法第27条では、子ども・子育て支援新制度における利用者負担に関し、国が定める額を上限として、保護者の世帯の所得状況やその他の事情を考慮して市町村が定めることとされています。 市としては、それぞれの家庭の所得の多少にかかわらず、幼児教育・保育を受けられるよう配慮してまいりたいと考えています。
53	事業計画の中にある「教育ニーズがある子ども」という分類により、保育と教育を分けることに違和感を覚える。	1	法制上、学校教育法による「学校教育」と児童福祉法による「保育」が規定されています。
54	1号認定と2・3号認定で平等なPTA活動ができるようになるとうい。	2	PTA活動につきましては、PTA、保護者会が園と相互に協議していただき、合わせて市として必要な相談や協議をさせていただくよう考えています。
55	幼稚園にとってメリットがない。 教育委員会主催の意見交換会があるとよい。	2	意見交換会については、教育委員会と相談したいと考えています。
56	保育士等の増員と処遇改善を。	12	職員確保と、処遇改善は重要な課題であると認識しており、潜在保育士の掘り起こしとともに環境整備に努めていきます。
57	きちんと資格を持った人員が配置されるのか。	1	確保に努めていきます。
58	パブリックコメントが計画に反映するようにしてほしい。	1	ご意見を参考に、修正等すべき点については、適宜、修正を行います。
59	パブリックコメント実施期間が短い。	3	岡山市パブリックコメント手続実施要綱第6条第2項に「公表の日から起算して30日間程度の期間を確保するよう努めるものとする。」とあり、それに従い期間を定めました。
60	「岡山市子ども・子育て会議で審議して参りました」とあるが、全体会での議論は1度だけ、その後の2つの部会の意見の交流や審議もなく、パブコメの募集に至っている。岡山市の将来の子どもの育ちやに関わる内容が多く、もう一度「子ども子育て会議」全体会での議論が必要であり、この募集は拙速過ぎである。	1	今後の参考にいたします。
61	保護者や園職員に制度について説明した上で、計画を実行して欲しい。	88	事業計画の実行に当たっては、事業者、保護者、地域関係者などとの連携が不可欠であり、説明や協議が必要と考えています。
62	よくわからない。詳しい説明が必要。	47	今後、広報や啓発に努めていきます。
63	広く意見を聴いて施策を進めて欲しい。	2	事業計画の実施に当たっては、岡山市子ども・子育て会議などでの協議を通じて、ご意見を伺いながら、取り組んでいきます。
64	みんなの意見が反映されていない。現場の声に耳を傾け、理論だけで先走らないように。	2	計画を実施に移す際には地域の方等の意見も聴きながら、よりよい施策になるよう努めていきます。
65	制度を利用できるよう周知を。保護者への説明も。	3	今後、広報や啓発に努めていきます。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
66	保育サービスについて、チラシ以外で知らせるべき。	1	今後の広報の参考にいたします。
67	「事業計画(素案)」は、「市民のひろば」では紹介されていない。せめて1月の「市民のひろば」には載せるべきだった。	1	今後の参考にいたします。
68	岡山市が主体となって実施していくことができる制度となることはとても良いこと。現状と課題をあげ、解決に向けて行政と市民が本気で取り組むとてもよい機会。 短期間で結論を出さなければならない厳しい現状であることはわかるが、市民への発信が今一步だったのが大変残念。 委員になった方々もじっくりと検討することができてないことが大きな課題。本気で取り組むのであれば、市民へ発信し、市民と一緒に検討していく機会を増やすことが大切。	1	
69	親子クラブは必要なのか。	1	おやこクラブは、同じくらの年齢の子どもを持つお母さんたちが子育ての喜びや悩みを共感したり、お母さん自身が子どもの成長と共に学びあい育ちあう場です。
70	子どもたちやその親の健康と病気予防のために、受動喫煙防止対策が重要。 幼稚園や小中学校を含め、保護者への禁煙促進の働きかけや啓発・講習等の実施を。 施設敷地内の全面禁煙の徹底・遵守。また施設(園、学校、子ども関連施設等)外における催し等でも、遵守・徹底を。 通学路、道路、食堂・レストランなどでも、タバコの煙から子どもたちを守るため、受動喫煙防止条例の制定や、飲食店やサービス業界等に、受動喫煙の健康リスクの明示の義務づけを。	1	学校をはじめ保育園や幼稚園などの公共施設については、敷地内を全面禁煙にするなど、受動喫煙防止対策に取り組んでいるところです。
71	地域の状況も勘案し、子どものことをよく考えた具体的な計画にしてほしい。	12	計画は、需要に対する数値目標を示していますが、不足している、又はニーズが増加した等の場合は、今後地域の方などとも協議しながら事業実施に努めていきます。
72	子ども医療費助成の対象を、小学生または中学生まで拡充して、子どもにかかる医療費を軽減してほしい。	7	子ども医療費助成制度拡充については、各種団体、市民から数多くの要望があり、有識者による「子ども医療費助成制度のあり方等に関する検討会」を設け、検討会での意見も参考とし、平成28年4月より、通院部分の対象者を就学前から小学校6年生までとし、拡充部分については現行の3割負担を1割負担に軽減することを決定しました。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
73	インフルエンザ予防接種の無料化を。	1	今後の施策の参考にいたします。
74	子どもに格差が生まれ、子どもの発達や命にかかわっていく面も、預ける側の保護者はどのように理解したり、考えられているのでしょうか。	1	
75	就学前～小中学校の無償化を	1	
76	窓口がバラバラで、どこに相談してよいのか分かりにくい。普通の政令市並みに子育て支援課(係)を設置したほうがよい。子育て支援にとって、保健所と福祉事務所の連携は必須。	1	
77	公園や子育て広場が増えればよい。	3	
78	市民の「希望」を真摯につかむ努力を具体化すること。	1	今後も、よりよい施策になるよう市民ニーズの把握に努めていきます。
79	夫婦共働きで近くに親類もいないため、子育て支援事業が拡大されることは非常に助かる。	1	今後も、よりよい施策になるよう努めていきます。
80	地域の人たちと繋がりを持ったことをしてくれる。(保育園の人たち、こぐま文庫)幼稚園に通っているみたい。(季節に応じた内容)日ごとに成長していく姿を見ることができる。普段、家で子どもと向き合えない時もあるが、子どものペースで遊ぶ時間を持つことができ、子育てが楽しい。	1	
81	現状に満足している。	1	
82	妊婦健診や血液検査、超音波検査の無料回数が第一子の時より増えていて大変ありがたい。	1	
83	親と子のことをよく考えた案だと思う。	1	
84	現行より悪くならないように。	1	
85	育児休業が取りやすい、子育てを安心してできる、会社の理解を得られる、父親も育休が取れる、安心して職場復帰できるなど、社会的な環境を整えてほしい。	6	今後も普及や啓発に努めていきます。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
86	児童館は、児童や乳幼児親子の居場所や交流の場所として重要な役割を果たしている。ぜひ存続してほしい。	19	今後の施策の参考にいたします。
87	児童館のような子どもが遊べる場所を増やしてほしい。	8	
88	児童館の活動内容をもっと充実してほしい。	8	
89	児童館の屋内外の環境整備をしてほしい。	26	
90	教育水準を維持し、プラスになるように	4	
91	財源は消費税に頼らず財源を確保すべき。	1	社会全体で子ども・子育てを支援するという考え方から消費税増税分を財源としています。
92	どこに消費税が使われるのか分からない。	1	内閣府のホームページやパンフレットなどで広報していますが、今回の計画に挙げている事業については消費税増税分が投入されます。
93	岡山市として実施主体として積極的に「上積み」予算を確保すること。	1	ニーズを満たせるよう取り組んでいきます。
94	幼稚園で給食を提供してほしい。 弁当の回数を減らし、給食の提供もして欲しい	4	幼稚園での給食については、提供は困難でありますので、ご理解ください。
95	4人の子どもを育てている。経済的な余裕があれば、まだまだ生みたかった。	1	より子育てしやすい環境をめざして努めていきます。

パブリックコメントのご意見（全体版）

番号	ご意見の概要	件数	ご意見に対する考え方
96	岡山市は子育て教育にお金を使っていない。他市よりも上乗せした内容にするべき。	1	今後も、よりよい施策になるよう努めていきます。
97	子どもや保護者にとってより良いものに、また、施策を受けられない人が出ないように。	2	
98	11の地域子ども・子育て支援事業が法定化され、子育て家庭が住みやすく、子育てしやすい岡山市になること、各地域にあった対策を期待。そして、少子化に歯止めがかかればよい。新規の利用者支援事業が始まるとより利用しやすくなるかもしれない。 受け入れ側も、規模の拡大、人材確保、相談体制の強化等、支援体制を整備するには、時間とお金がかかる。5年間でどれくらいの支援体制が整備されるのか。 支援事業スタッフにも子育て世代の方が多く携わっているはずで、支援者側の子育て家庭へもこの支援事業を利用して働きやすい環境を提供してほしい。	1	
99	特にない。	1	ご意見ありがとうございました。
100	津波などの災害時避難場所の設定は見直されるのか。	1	
101	保育園の職員には市民以外もいるが、パブコメに参加したい。市の子育て事業にかかわっている。	1	